

豊田景気実感調査



Viewing over Our Toyota's Economic Condition

第20号

発行日 2021.6.14

令和3年5月調査結果 “豊田の景況感、長引くコロナ禍で回復ペースの鈍化が顕著”

	現状判断D I				先行き判断D I				水準判断D I			
	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合
豊田	29.5	44.0	44.4	35.9	38.2	42.7	40.3	40.0	23.1	39.4	37.5	30.1
全国	33.5	46.9	49.6	38.1	46.5	49.0	52.0	47.6	25.3	37.5	34.7	29.0
東海	34.2	—	—	41.8	43.6	—	—	46.6	26.1	—	—	30.9

※全国、東海は内閣府5月調査 【天気図の見方】 D I値 ☀️ 大きな晴れ：60点以上 / ☀️ 晴れ：50～60点未満 / ☁️ 曇：40～50点未満 / 🌧️ 雨：40点未満

令和3年5月 調査結果総括

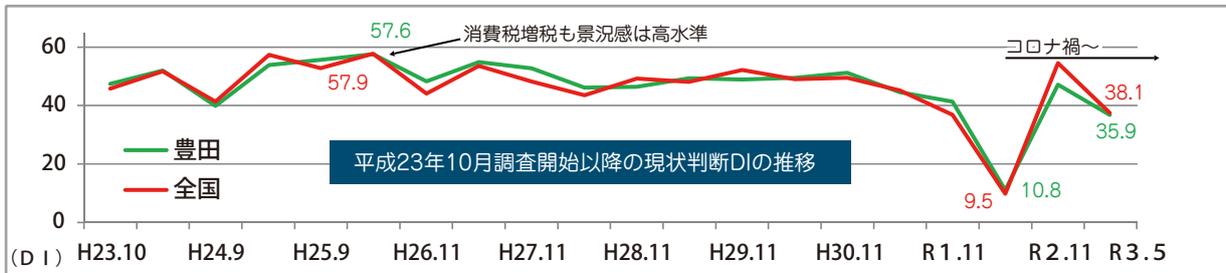
豊田の現状の景況感は、コロナ禍の影響により昨年5月に底を打った後、自動車生産台数の回復などを背景に、全国比緩やかなペースではあるものの持ち直していましたが、3度目の緊急事態宣言もあり、持ち直しに弱さが見られる状況にあります。

先行きについては、自動車関連で前向きな状況が確認されるものの、家計部門にてコロナ禍の影響が長引くことを前提とした先行き不透明感を指摘する声が依然多く、全国比で見ても厳しい見方となっています。

ワクチン接種の進展で景気は回復していくとの見方が数多く寄せられており、景気回復に向けた明るい兆しも確認しています。

令和3年5月 特別調査結果

- 所得見直し・お小遣い等は、コロナ禍前の水準には戻っていないものの、改善傾向にあることが確認されています。
- 「消費行動」におけるコロナ禍の影響については、83.4%の景気モニターに消費行動の抑制が見られるとの結果となり、前回11月調査80.6%から増加しています。豊田市内における消費行動についても、実に60.2%が減少していると回答されており、家計動向関連の厳しさを裏付ける結果となっています。
- 「ワクチン接種」を希望する方は83.5%、接種時期は来年1月末までに1回目を終えるだろうとの予想が多く、街に賑わいが戻り、経済も回り出すのは来年2月頃になるものと推察されます。
- 「コロナ禍にあって期待する施策」については、公平な支援を求める声が多く、一方で今後の増税負担を懸念する声も多く寄せられています。



1. 調査期間：令和3年5月1日～28日

2. 調査客体：297名（家計/企業/雇用等） うち有効回答：254名 / 有効回答率：85.5%

3. 調査項目：
 ・ 2～3ヶ月前に比べ現在の景気はどう変化したと感じますか？ ⇒ 現状判断D I
 ・ 2～3ヶ月前の景気は現状に比べどう変化すると予想しますか？ ⇒ 先行き判断D I
 ・ 現在の景気的水準をどう判断されますか？ ⇒ 水準判断D I

<問い合わせ先>
 豊田商工会議所：小池
 0565-32-4594
 豊田信用金庫：高橋
 0565-36-1384

4. D I算出方法：

評価段階	5	4	3	2	1
現状判断	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
先行き判断	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
水準判断	良い	やや良い	どちらでも	やや悪い	悪い
付与点数	1	0.75	0.5	0.25	0

各判断項目毎に、評価段階別の回答者数構成比（100%比）を出し、その構成比に上記の付与点数を掛け、合計します。それがD I値です。

本調査は、豊田市に居住または勤務されている個人の方で、家計、企業、雇用の動向を敏感にキャッチ出来る方を対象に、身の周りの景気の実感を聞く調査です。内閣府の「景気ウォッチャー調査」（こちらは毎月実施）に準じて、豊田商工会議所と豊田信用金庫とが協働し半年に1回（5月/11月）実施しています。また、家計は小売、飲食、サービス、住宅、企業は製造、非製造業から成ります。なお、本調査では別に特別調査を実施しています。

<調査にご協力頂いた皆さまに心よりお礼申し上げます。>

現状判断

総括

総合DI (豊田) 悪化



●前回は

- ・総合：悪化 (曇→雨)
- ・家計：悪化 (曇→雨)
- ・企業：悪化 (晴→曇)
- ・雇用：悪化 (晴→曇)

●全国比

- ・総合：不変 (劣位→劣位)
- ・家計：不変 (劣位→劣位)
- ・企業：不変 (劣位→劣位)
- ・雇用：悪化 (優位→劣位)

前
回
比

業種別内訳

人流減少による影響の大きい業種において弱さが際立ちます。



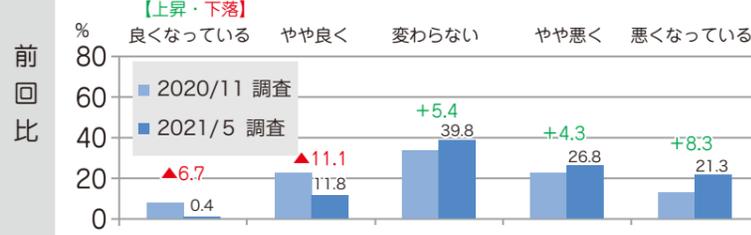
全
国
比

小売の全国比劣位が目立つ。全体的に全国比劣位の状況にある。



評価段階別内訳

“悪化” 傾向の回答へとシフトしている。



全
国
比

全国比で、大きな回答の偏りは見られない。



景気モニター生の声

< + : 回復感あり - : 回復感なし >

※家計動向=家、企業動向=企、雇用関連=雇、と略

- + : ワクチン接種を期待して、秋以降の予約が入り始めている。(旅行代理店従業員)
- + : トリートメントなどの注文メニューが旅行などに行けないため、平時より増えている。(美容室経営者)
- + : トヨタ自動車の生産計画台数の高止まりによる受注数の増加が見られる。(製造業経営者)
- + : イベント開催について、今年はWEBや規模縮小などやり方を工夫して開催する企業が増えている。(輸送用機械器具従業員)
- : 平日も土日も人の動きが止まっている。(百貨店売場担当者)
- : 出来るだけお金をかけずに車検、修理をし、購入時は車両のグレードを落とすなどが見られる。(自動車備品販売店経営者)
- : 過去にない苦境。コロナ終息後も以前の水準まで回復するか不安である。(都市型ホテル経営者)
- : 緊急事態宣言の延長で、飲食店の従業員の家賃滞納相談が増加している。(住宅関連経営者)
- : 当地域の飲食、観光等のサービス業者から、絶望的な声しか聞こえない。(職業安定所職員)

先行き判断

総合DI (豊田) 悪化



●前回は

- ・総合：不変 (曇→曇)
- ・家計：不変 (曇→曇)
- ・企業：不変 (曇→曇)
- ・雇用：悪化 (晴→曇)

●全国比

- ・総合：不変 (劣位→劣位)
- ・家計：不変 (劣位→劣位)
- ・企業：不変 (劣位→劣位)
- ・雇用：悪化 (優位→劣位)

前
回
比

ワクチン接種進展への期待から、飲食に大きな改善が見られる。

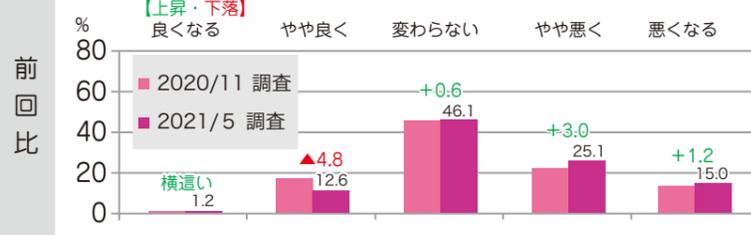


全
国
比

住宅以外は全て全国比劣位。全国比先行き見通しが慎重な様子です。

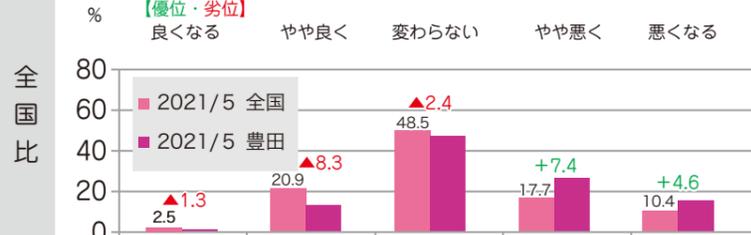


“悪化” 傾向の回答へとシフトしている。



全
国
比

先行きを厳しくみる見方は全国を上回っている。



< + : 回復感あり - : 回復感なし >

※家計動向=家、企業動向=企、雇用関連=雇、と略

- + : コンピュータ関連の案件が増えており、この傾向は続くと思われる。(家電量販店従業員)
- + : 今よりも悪い状況になると思いたくない。(都市型ホテル経営者)
- + : 自主事業のマルシェの開催が毎月になり、出店希望者も増加傾向であり、一つのきっかけとして、地区の活性化に貢献できればと考えております。(観光名所など関連従事者)
- + : 半導体不足による生産調整の可能性はあるが、世界的にはワクチン接種により景気回復し自動車販売台数も回復するはずだから。(輸送用機械器具従業員)
- : 金銭以上に精神的ダメージが大きい。宣言が解除されても、いつ再び同様の事態に陥るのか不安な状態で、誰が積極的な広告宣伝、投資を行うでしょう。お店に投資しなければお客様の来街来店動機が生まれ辛くなります。(商店街代表者)
- : 住宅建築において、外国からの輸入材が入ってこない状況で建物の着工や、営業見積が高くなり受注に影響している。(住宅販売会社経営者)

水準判断

総合DI (豊田) やや良化



●前回は

- ・総合：不変 (雨→雨)
- ・家計：不変 (雨→雨)
- ・企業：不変 (雨→雨)
- ・雇用：不変 (雨→雨)

●全国比

- ・総合：良化 (劣位→優位)
- ・家計：不変 (劣位→劣位)
- ・企業：良化 (劣位→優位)
- ・雇用：良化 (劣位→優位)

前
回
比

足元の景況感の家計動向関連に特に弱さが見られます。

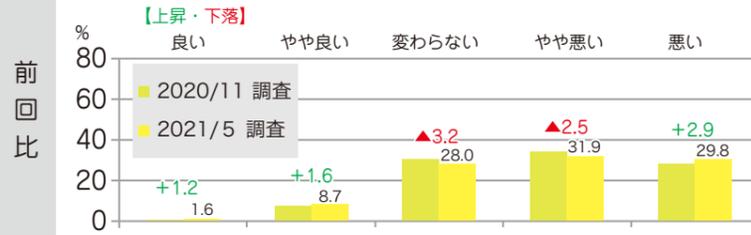


全
国
比

小売と住宅は全国比劣位ですが、他は優位に転じています。



「悪い」の増加も、やや良化方向へのシフトが見られる。



全
国
比

全国比、良化方向の回答が足元では多い。



自由回答：景気モニターからの貴重な声

- ・コロナ病床の新設や、ワクチン・治療薬の国産開発にこそ、税金を使うべきである！
- ・豊田市内は、大手自動車メーカーさんが稼働しているお蔭で比較的ダメージは小さいと思います。ただし、飲食・サービス業は疲弊しているので、早く支援の手が差し伸べられることを希望します。
- ・コロナ対策で豊田市内の飲食店の時短を行うのではなく、感染対策は充分行った上で、人数制限で通常営業を行ってほしい。このままだと、豊田の街は廃れます。
- ・コロナ禍で大変な状況が続きますが、市内事業所のみならず日本全体で元気に盛り上げていきましょう。そして子どもたちに未来への希望を与えられるように経済を盛り返していきましょう。
- ・豊田商工会議所は、もっと情報を流してほしい。自分たちの存在意義をもっと自覚してほしい。
- ・中小企業の資金面に対する後方支援、または制度を利用するための実務支援など、しっかり行っていただけると助かります。

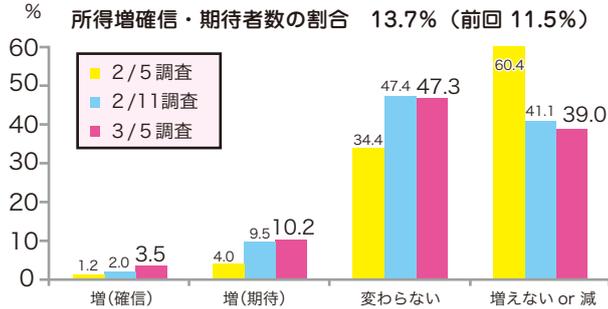
～ 貴重なご意見、ありがとうございました。～

【特別調査】

所得見通し※ 消費意欲の調査

※平成24年から調査を継続しています。

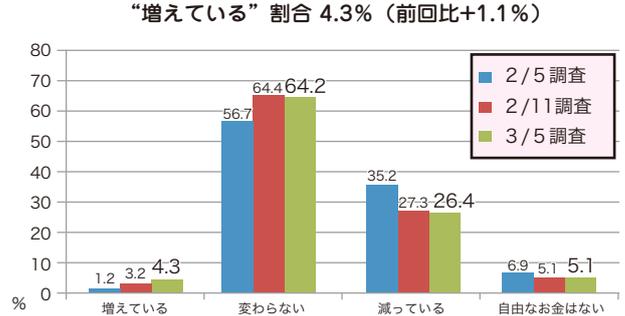
今後、所得は増えていくと思いますか？



コロナ禍における所得への不透明感は徐々に薄らいでいる様相

「増えないあるいは減る」とのネガティブ回答が減少し、「増加期待」と「増加確信」へシフトしました。ワクチン接種など明るい話題がある事で所得見通しの先行き不透明感も徐々に薄らいできている様相です。

自由に使えるお金【小遣い等】は増えましたか？

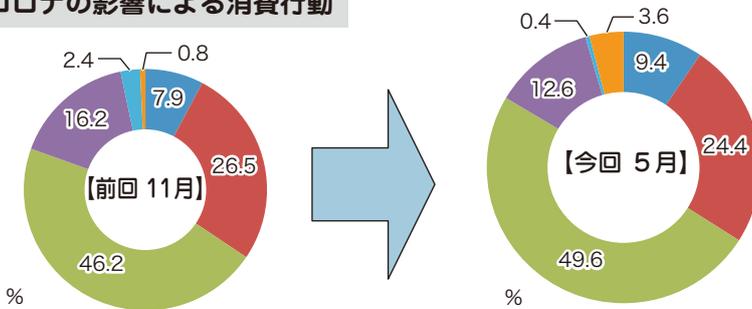


「お小遣い」に対するコロナ禍の影響はやや沈静化の傾向

「減っている」との回答が減少した一方、「増えている」との回答が増加しました。但し、依然「増えている」との回答は低位推移しており、消費意欲の停滞が引き続き懸念される結果となりました。

新型コロナウイルス感染症の「消費行動」への影響調査等

コロナの影響による消費行動

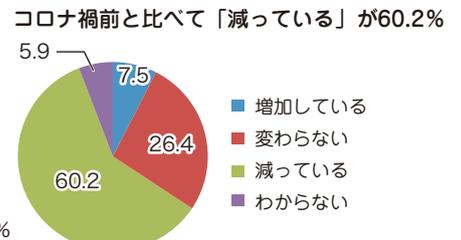


- 平時より80%以上、消費行動は抑制されている
- 平時より50%以上80%未満、消費行動は抑制されている
- 平時より20%以上50%未満、消費行動は抑制されている
- 平時と消費行動は変わらない
- 平時より消費行動は活発化している
- わからない

前回11月調査時は、80.6%の方が平時に比べて消費行動は抑制されているとの結果でしたが、今回の5月調査では、83.4%となり、コロナ禍に加え緊急事態宣言の発令下ということもあり、消費行動は一段と控えられていることがわかりました。

※昨年の5月（緊急事態宣言下）と比較すれば84.3%と同程度です。尚、抑制割合については50%以上の抑制が▲0.6%となっており、僅かながら消費行動の改善が前回11月調査比で確認されました。

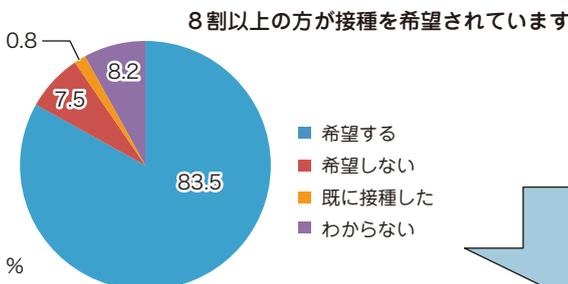
豊田市内での消費行動は？



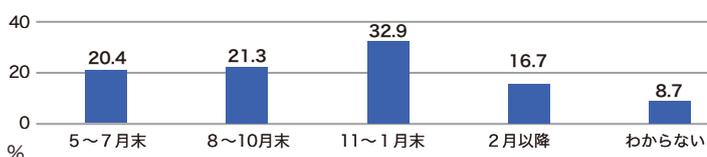
コロナ禍前と比べた豊田市内での消費行動は実に60.2%の方が「減っている」との回答でした。景気実感調査における「小売」や「飲食」などの家計動向D1の低調さを裏付ける結果となりました。コロナ禍において消費が委縮中、豊田市内での消費も大きく委縮していることがわかりました。

新型コロナウイルスのワクチン接種を希望しますか

ワクチン接種に関する意向調査を行いました。経済が回りだすタイミングを推し量る意味で、接種時期予想についても併せて調査しています。



接種1回目をいつ頃と予想されていますか



4人に3人の方が来年の1月末までには1回目の接種が出来るだろうと予想されています。2回目も終わることを踏まえると来年の2月頃にはコロナ禍からの本格的な脱却が期待でき、街の賑わいも戻り、経済も回っていくことが想定されます。

コロナ禍にあって行政に期待する施策は？



その他、以下のご意見が寄せられましたので紹介します。

- ・家賃支援、無利子無担保融資の融資枠を拡充してほしい。
- ・民間がイベントを自粛しているのに、公共空間でイベントが開催されており、イベント開催の方向性を確定してほしい。
- ・ワクチン接種を完了し、GOTOトラベルを再開してほしい。
- ・所得減少状況に応じた支援策を実施してほしい。
- ・今後の増税負担が怖い。お金のバラマキはやめてほしい。
- ・コロナ対応されている医療従事者への謝礼を出してほしい。